

田中隊

9900

軍事極秘

自昭和十四年十二月十五日  
至昭和十四年十二月十六日

瑤湖東南方附近戰鬪詳報

戰鬪詳報第三號  
所要地圖  
二萬五千分之一 瑤湖 謝隴市

第三十四師團野砲兵第三十四聯隊第三大隊



目次

- 第一 戰鬥前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 第二 戰鬥ニ影響ヲ及ボシタル氣象、地形及住民地ノ狀態
- 第三 各時期ニ於ケル戰鬥經過、關係部隊ノ動作
- 第四 彼我ノ兵力交戦セシ敵ノ團隊號、裝備、素質、戰法
- 第五 戰鬥後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 第六 參考トナルヘキ事項

別紙

別紙要圖

- 其一 到達シタル命令
- 其二 職員表及編成表
- 其三 武器彈藥損耗表
- 第一 十二月十日彼我態勢要圖
- 第二 全 日戰經過要圖
- 第三 十二月十日彼我態勢要圖
- 第四 全 日戰經過要圖

## 第一 戰鬥前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

一、大隊(分隊)ハ予備砲兵トシテ南昌ニアリ豫ネテ出動準備中ノ

處十二月十五日一二〇〇急據東地区隊長ノ指揮ニ入ルヘシトノ

大師砲作命第八十一號ヲ受領ス

大隊八一三五〇南昌出發棠溪ニ向ヒ急進ス

二、指揮班長 觀測掛將校以下大隊挺進班八一五、三〇棠溪ニ

到リ東地区隊長ヨリ別紙要圖第一ノ如キ彼我ノ状況及攻撃

企圖ヲ承知ス

第三、戦斗ニ影響ヲ及ボシタル氣象、地形及住民地ノ状態

一、當時ニ於ケル日出日没ノ時刻尤ノ如シ

日出 〇八、〇五

日没 一八、二五

- 二、阿禰寺ノ塔ハ最初敵ノ據リタル所ニシテ附近一帯平地續キ此地  
 方ニテハ視界極メテ廣闊ニシテ觀測所トシテハ絶好ノモノナラン
- 三、附近ニ墓地帯多ク存在セリ敵ノ墓地ノ利用ハ巧ニシテ榴弾ノ効  
 力ヲ減殺スルコト甚ク<sup>而シテ</sup>墓地ニ對シテハ榴霰彈ヲ必要トス
- 四、午前中ハ太陽ヲ前ニシテ<sup>而シテ</sup>謁、為觀測困難ナルモ一四、〇〇頃ヨリハ  
 入日ヲ背ニ受ケ敵陣地ノ細部ヲ觀測シ得タリ

第三 各時期ニ於ケル戦斗經過關係部隊ノ動作

二月十五日

大隊(約90名)八十六時三十分棠溪ニ到着ス

大隊長ハ棠溪地区隊長ノ新ニ至リ其ノ指揮ニ入り所要ノ連絡ヲ為スト共

ニ彼我ノ状況及地区隊長ノ企図ヲ承知シ虞村ニ向ヒ前進ス

十六時四十五分大隊本部ハ虞村展望台ニ第八中隊ハ虞村東方ニ

百歩ノ田地内ニ尖々陣地占領ス

大隊長ノ戦場到着時ヨリ其ノ指揮下ニ入りタル第七中隊ハ小隊長

ハ既ニ棠溪南側ニ陣地占領シアリテ歩兵ノ戦斗ニ協力中ナリ

二十七時二十分第七中隊ヲシテ沙溪魏及高日湖村ヲ第八中隊ヲ

シテ阿禱寺及荷湖周村ノ敵ヲ制圧セシム

其ノ頃友軍歩兵ハ周防江東方クリノノ渡河ニ成功シ吳庫村附

近ニ進出セル為其ノ附近ノ敵ハ阿禱寺附近へ退却ヲ開始セシニ

折シテ第八中隊ハ阿禱寺ヲ射撃中ニシテ敵ハ俄ニ狼狽シ右往

右往ス

十八時三十分阿禰寺ノ敵ハ我カ砲撃ノ一時中止セルニ乘シ荷湖周  
村ニ向ヒ退却ヲ開始セシヲ以テ直チニ第八中隊ヲシテ荷湖周村  
ニ對シ退却スル敵ニ猛射ヲ浴ビセシム敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ  
タル模様ニシテ算ヲ乱シ東南方ニ潰走セリ

十八時五十分射撃ヲ一時中止シ夜間射撃ノ準備ヲ命スルト共  
ニ至嚴ナル警戒ノ計ニ夜ヲ徹ス

各時期ニ下セル命令及到達シタル命令附録其ノ如シ

戰鬥一般經過別紙要図第ニ如シ

兵器彈藥損耗表附表其ノ如シ

十二月十六日

一、天明後直チニ東地区隊長ハ部下中隊ヲ率ヒ虞村東北方ニ軒ノ渡河  
更ヨリクリクノヲ渡河シ阿禰寺附近ノ敵ヲ陸所ニ撃破シ攻撃ヲ前進  
ヲ開始ス(五時ニ於ケル彼我態勢要図別紙第三ノ如シ)

大隊ハ之ニ協カスルタメ先ツ第七中隊ノ觀測所ヲ崗背鄭ニ本部  
第八中隊ノ觀測所ヲ虞村東方一軒夜軍火莫ニ一部推進シ敵  
偵搜索ヲ実施セシム

〇八、〇第八中隊ヲシテ吳樟村附近ニ第七中隊ヲシテ高日湖村  
殷防湖湖前胡家ニ哨集セル敵ニ對シ制圧射撃ヲナシ之ニ相  
當ノ損害ヲ與ヘタリ

二、夜軍ハ我適切ナル火力ニヨリ一舉ニ吳樟村ヲ占領シ一部ハ荷湖  
周村ヲ占領ス

三、〇、〇第八中隊ヲシテ密接ニ歩兵ノ前進ニ協力セシムルタメ一門  
ヲ約千米臂力ニヨリ觀測所附近ニ推進セシメ吳樟村東北方墓

1200

地内ノ敵ノ側方ニ對シ猛烈ナル火力ヲ浴ヒセシム  
 之カ爲敵ハ俄ニ動搖シ吳村附近ニ退却ヲ開始シ以テ友軍ノ周  
 村ヘノ前進ヲ容易ナラシメタリ

四一〇〇大隊指揮班ノ一部(日谷少尉指揮)ヲ周坊江ニ推進セシム、續イ  
 テ一ニ三〇大隊觀測<sup>所</sup>ヲ推進シ周坊江ニ至ル

五一三〇〇第八中隊ヲシテ紙行態附近ヲ制圧セシメ第七中隊ヲシテ  
 高日湖村(含む)以南ノ敵ヲ求メテ制圧セシメ友軍歩兵ノ周村ヘノ  
 前進ヲ容易ナラシム

一三〇〇第八中隊ハ吳庫葦城坊揚家ニ第七中隊ハ高日湖村北  
 側墓地附近ニ夫々敵ヲ求メテ射撃ヲ開始ス

一四、五ノ敵ハ我方砲火ニヨリ一時制圧サレタル状態ナリシカ其ノ後尚モ  
 城坊揚家附近ニ帯墓地ニ隠レ友軍歩兵ノ前進ヲ拒ミ死ニ物  
 狂ヒノ抵抗ヲナス



歩兵ノ要求ニヨリ機ヲ失セズ第八中隊ヲシテ城防揚家敵機筒銃  
 巢ニ對シ集中射ヲ實施セシム

一四、五ノ砲身ヲ燒ケヨト計リニ射ヲ出ス猛烈ナル砲彈ニサシモノ敵陣  
 地モ黒煙ニ包マレ

其ノ黒煙ヲ縫フ如ク右往左往スル敵兵ノ逃クルヲ追フ如ク落下スル  
 砲彈ニハ敵モ之ニ對應スルノ策ナク其ノ混乱狼狽ノ様ヲ目前ニ  
 見志氣愈々昂ル友軍ハ機ヲ失セズ勇躍前進又前進敵陣

高日湖村間近ニセマル

第七中隊ハ熊村西側ノ壕ニ據リ抵抗スル敵ヲ制圧ス

六一六四ノ大隊本部及第八中隊ノ觀測所ヲ周防江東方七百米ノ友  
 軍火兵ニ推進ス

觀測所ニ到着スルマ敵迫撃砲彈ノ集中射ヲ受ケタルモ損害ナシ  
 第七中隊ノ觀測所ハ一三〇ノ及一五五〇ノ二回ニ亘リ所在不明ノ迫  
 撃砲集中射ヲ受ケタリ銳意其ノ所在ヲ搜索シタル結果金鳳洲

王鄧裡王東南方約五百米ノ墓地ニアルヲ發見セリ直チニ之ニ對シ第  
 七甲隊ヲシテ制圧セシム 一六四五 完全ニ沈黙ス  
 七、一七〇〇 第七甲隊ニハ高日湖村へ退却南下スル敵ヲ制圧セシメ相當  
 ノ損害ヲ與フ  
 友軍歩兵ノ高日湖村へ突入ノ準備全ク成ルヤ一斉ニ集中射ヲ  
 開始シ友軍ノ突撃成功スルヤ直チニ射程ヲ延伸シ敵後方ヲ  
 攪乱シ敵ノ逆襲企図ヲ破砕ス  
 八、折シモ城坊揚家項家附近ノ敵ハ續々東南方へ退却ス  
 高日湖村附近ノ敵ハ武溪市ニ向ヒ全面的ニ退却ヲ開始ス  
 第七甲隊ヲシテ武溪市方面退却ノ敵ニ第八甲隊ヲシテ城坊揚  
 家項家ヨリ退却スル敵ヲ制圧セシム 適切ナル砲火ノ前ニ敵  
 ヲシテ全ク戰意ヲ消失セシメ日没間近クナルニ從ヒ全ク銃声  
 ヤミ彼我對峙セルマ、夜ニ入ル  
 大隊ハ敵ノ逆襲ヲ顧慮シ至嚴ナル警戒ノ下ニ夜ヲ徹ス

九二〇三〇東地区隊長、并ニ連結及ヒ爾后作戰打合せノ為棠溪ニ至ル  
二、三〇小渡作命第一三四號受領シ直チニ南地区蓮塘市ニアル  
長林部隊長ノ指揮下ニ入ルヘク前進ヲ準備ス

各時期ニ下セル命令及到達シタル命令別紙ノ如シ  
戰鬥一般經過要圖別紙第四ノ如シ  
兵器彈藥損耗表附表其三ノ如シ

第四 彼我ノ兵力交戦セシ敵ノ團隊號裝備素質戦法

我ト交戦セシ敵ハ豫備第五師ニテ團ニシテ兵力概ネ一四〇〇名ナリ

機関銃、迫撃砲ヲ有シ小銃ハ概ネ各人携行シ居レリ

敵ハ我砲彈ヲ受ケ初ムルヤ直チニ家屋ニ入り其ノ後三々伍々後方ニ退却

スルヲ常トセリ 敵ハ攻撃手精神ニ乏シク側方ニ對スル顧慮少ナシ

本攻撃手ニ参加セル我軍ハ

歩兵三ヶ中隊 機関銃四銃 野砲ニテ中隊(一ヶ隊欠)

戦斗ニ参加セシ野砲第三大隊 縮成表及職員表附表其一ノ如シ

第五 戦斗後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

友軍歩兵ノ高田湖村占領ニヨリ敵ハ逐次後溪張及武溪市方面へ

退却ヲ開始シタルモノト如シ

## 第六 参考トナルヘク事項

- 一、観測所ハ務メテ疎散シ遮蔽スル如ク平素ヨリ注意シアル<sup>ニ</sup>拘ラス今圓ノ  
戦斗ニ於テ密集シ敵ノ發見スル所トナリ追撃砲ノ射撃ヲ受ク  
將來注意ヲ要スルコトナリ
- 二、敵至近ノ距離ニ火砲ヲ推進セラメタルニ敵ニ精神<sup>的</sup>の打撃ヲ與  
フル事甚大ニシテ且夜軍歩兵ト密接ニ協力スルコトヲ得タリ  
亦夜軍歩兵ノ精神<sup>的</sup>の支援ノ効果大ナリ之レ操典ニ示サレアル所  
ニシテ其ノ教訓ヲ实地ニ體驗シタリ
- 三、砲兵ノ観測所ハ我カ軍ノ勢力範圍ニアリタル地域ナリシタメ主ト  
シテ夜軍歩兵ノ既設ノトナリテカ展望台ヲ利用スルモ砲兵觀  
測所<sup>所</sup>シテハ不便多シ今日ノ戦斗ハ攻撃トナリシモ現況ニ鑑  
ミ將來防禦ノ歩兵第一線ニハ最初ヨリ砲兵觀測所ニモ適  
スル如ク改造スルカ亦ハ別ニ平素ヨリ設備シ置クヲ要ス
- 四、携行榴霰彈ハ不良彈多數混入シアリ危害豫防上敵至

近ノ距離ニアル友軍歩兵ヲ超過シテ射撃スルヲ得ス、榴彈  
 ヲ用ヒタルモ墓地々帯ニアル敵兵ニハ是非榴散彈ヲ使用スルヲ  
 要スルモノト認メタリ  
 不良彈ノ判定ハ美射ニ依ル外区分困難ナリ

別紙 各時期ニ下セル命令及到達シタル命令

大帥總命令第八十一號

長林部隊命令

十二月十五日二〇〇  
於南 昌

一 約四百ノ敵ハ東地区棠溪附近ニ近進中ナリ  
師團ハ一部ノ兵力ヲ以テ東地区隊ニ増加シ該方面ノ敵ヲ擊滅セン  
トス

二 野砲兵第三大隊第七第九中隊及ハ連ニ東地区隊棠溪ニ到リ該  
地区隊長ノ指揮ニ入ルヘシ  
三 糧秣ハ携行糧秣ノ外ニ日分携行スヘシ

部隊長 長林勝由

下達法

第三大隊ニ連絡將校ヲ派遣シテ要旨ヲ口達シタル後

命令受領者ニ口達筆記セシム

小渡作命第一二八號

東地乙隊命令

十二月十五日、四、五、  
於榮溪郡隊本部

一、諸情報ヲ綜合スルニ敵ハ本朝来熊村(武溪市西方一軒)ニ約百名  
高田湖村周村附近ニ約四百名、張村、熊村附近ニ約三百五十名我ニ  
對シ攻勢ヲ企圖セルモノト知リ

二、大隊ハ大江隊、小隊、佐藤隊、西園隊、久保隊(師團ヨリ増派  
セラルル)隊長以下百四十名、所一小隊屬込戰車小隊(柏木曹長以下  
四十名)野砲兵隊(大隊長ノ指揮スル一台中隊)ヲ以テ前面ノ敵ヲ捕  
捉殲滅セントス

三、大江隊長ハ戰車隊ト協力鄭姓南側地ニヨリ熊村附近ノ敵ヲ攻  
撃爾後追撃ニ當リテハ殿村湖、沙溪魏、高田湖村、慈溪羅城防  
揚家ノ方向ニ前進スヘシ

四、久保隊ハ劉定東方渡場ヨリ張村、熊村附近ノ敵ノ側背ニ進出シ  
該敵ヲ捕捉殲滅スヘシ



1800

- 五、佐藤隊ハ久保隊ト協力、張村、熊村ノ敵ノ側背ヨリ捕捉殲滅スヘシ
- 六、前田小隊ハ極力前面ノ敵ヲ牽制スヘシ
- 七、久保及佐藤兩隊ハ爾後追撃ニ着リテ八岡村、後溪湖並ニ遙湖中間地区ヲ文村、文家ノ線ニ進出スヘシ、追撃ノ時機ハ後命ス
- 八、大江隊トノ連繫ニ注意スヘシ
- 八、大隊砲野目隊ハ周防江北側地区ニ進出シ久保、佐藤兩隊ノ戰鬥ニ協力、敵自動火器ヲ求メテ制圧スヘシ
- 九、野砲西岡隊ハ現在地ニ於テ熊村方面ノ敵ヲ制圧スヘシ
- 一〇、配屬野砲中隊ハ周防江ニ進出シ久保、佐藤兩隊ノ戰鬥ニ協カスヘシ
- 一一、小山隊ハ豫備隊トナリ大隊本部ト共ニ行動スヘシ
- 一二、各隊ハ遠ニ所定ノ配置ニ付攻撃ヲ開始スヘシ
- 一三、日没後ハ兵力ヲ集結シ爾後ノ命ヲ待ツヘシ
- 一四、西脇軍医ハ本部ニアリテ松川軍医ハ久保隊、佐藤隊ト行動ヲ共ニシ夫々傷者ノ施療ニ任スヘシ

2800

0083

五、余ハ諸隊展開マテ現在地ニアリ爾後湖定北側墓地ニ前進ス

東地区隊長 渡辺少佐

下達法、口達筆記セルモノヲ配布シタル後印刷交付ス

高瀬部隊命令

十二月十五日 一六四五  
於虞村觀測所

- 一、敵情及夜軍ノ情況ハ現地ニ於テ指示セシ通リ
- 二、大隊ハ歩兵ノ攻撃ニ對シ其ノ背後並左側背ヲ掩護シ成シ得  
レハ其ノ攻撃ニ直接協力セントス

179

0977

三 本部及各中隊ハ先ノ如ク陣地ヲ占領スヘシ

観測所

放列

本部 虞村展望台

第七中隊 棠溪展望台

棠溪東側

第八中隊 放列附近

虞村北側

四 第七中隊ハ余ノ棠溪到着時ヨリ余ノ指揮ニ入ルヘシ

五 搜索区域及射撃準備ニ関シテハ現地ニ於テ指示セル通りトス

六 彈藥使用標準一門〇、五基数トス

七 余ハ虞村展望台ニアリ

大隊長

高 瀬

少 佐

下達法 中隊長ニ口達スルト共ニ命令受領者ニ筆記セシム

- 六、野砲隊ハ我カ第一線ノ攻撃進捗ニ伴ヒ逐次射程ヲ南方ニ移動スルト共ニ側面及背後ニ現出ヲ豫想スル敵ヲホメテ制圧スヘシ
- 諸隊ハ第一線及後端線ヲ國旗ヲ以テ明示スヘシ
- 特ニ敵眼ニ遮蔽セシムヘシ
- 七、大江隊及戰車隊ハ斬性ヨリ熊村ニ向ヒ前進スル筈之上ノ連絡ハ信號彈ニヨル
- 八、久保隊ハ風向ヲ考慮シ赤筒ヲ使用スヘシ
- 九、余ハ西中隊ノ後方ヲ前進ス

東地区隊長 渡辺 少佐

下達法 口達筆記セルモノヲ配布シタル後印刷交付ス

高瀬部隊命令

十二月十五日二十時

一、敵ハ吳庫村、胡定、殷坊、胡熊村ノ線及其ノ東側諸部ヲ落シ且

リ陣地ヲ占領シアルモノヲ如シ

當地ニ隊ハ明早朝ヨリ此ノ敵ヲ側背ヨリ攻撃シ樽河ノ線ニ圧

迫殲滅ス

二、大隊ハ歩兵ノ攻撃ニ協力スルト共ニ側面及背後ニ現出ヲ豫想ス

ル敵ヲ求メテ制圧セントス

三、第七中隊ハ天明迄ニ崗背嶺ニ觀測所ノ一部ヲ推進スヘシ

四、第八中隊ハ天明迄ニ虞村東方一軒ノ友軍火突ニ觀測所ヲ推進スヘシ

五、余ハ各隊ヲ巡視セル後二十時以後虞村ニアリ

大隊長 高瀬 少佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ達筆記スル

9800

考備	計	第八中隊	第七中隊	大隊本部	隊		種類
					号	分	
	五五	三八	二三		榴彈	彈	消
	四三	二四	一九		榴霰彈	藥	費
					砲車	武	損
					彈藥車	器	
					其他榴彈	彈	藥
					榴霰彈	藥	
						其他武器	耗

昭和十四年自十二月十五日至十二月十六日 野砲兵第三十四聯隊第三大隊武器彈藥損耗表

附表第二 戰鬥詳報第三号 附表

後漢於  
 松隈時二十日五相斗圖要勢態我彼以於前戰

別紙第一

0980

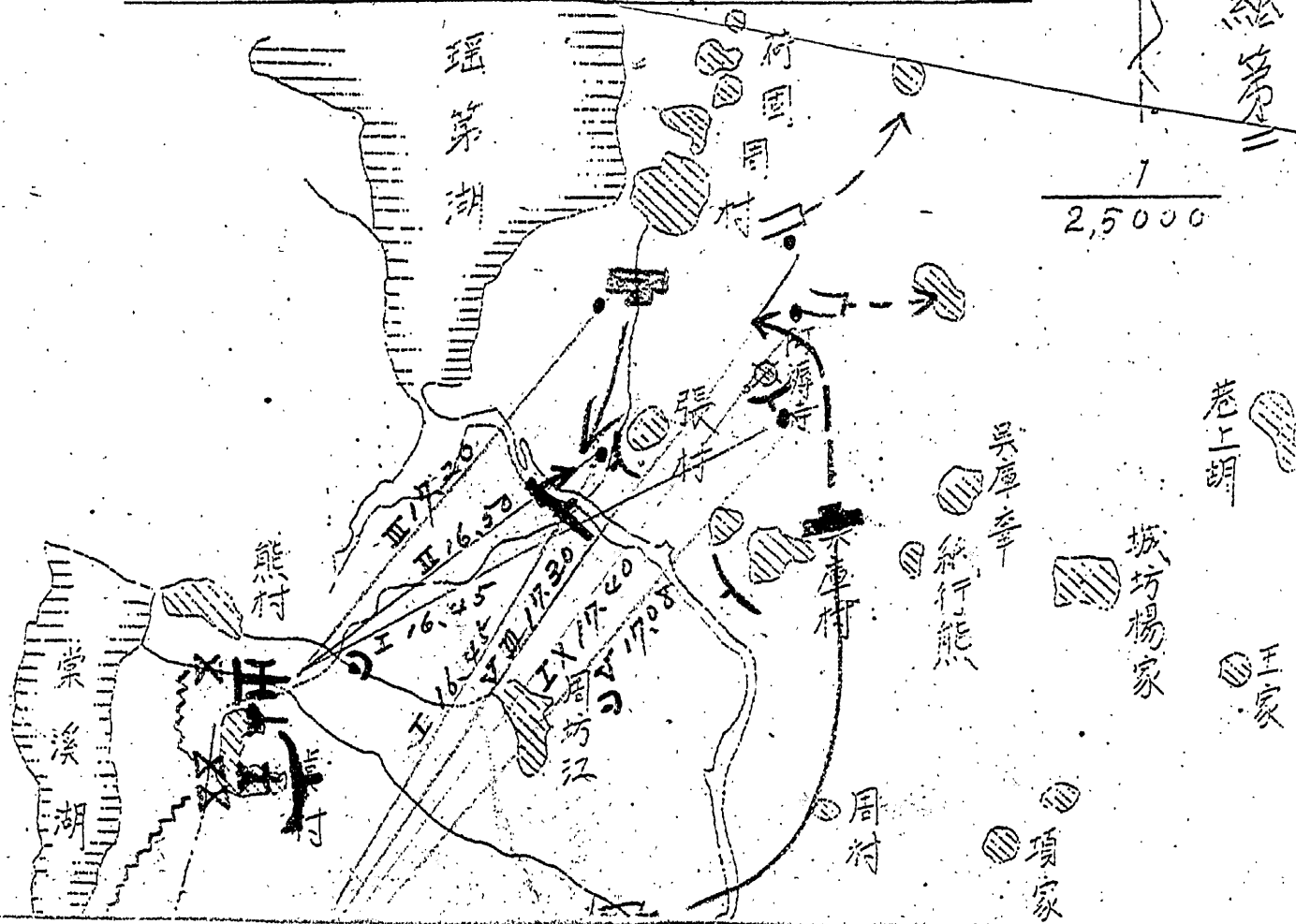


山友軍攻進企圖ヲ示ス

0087

84

(日五十月二十) 圖要過經斗戰近附方南東湖瑤



別紙第 二

0983

85

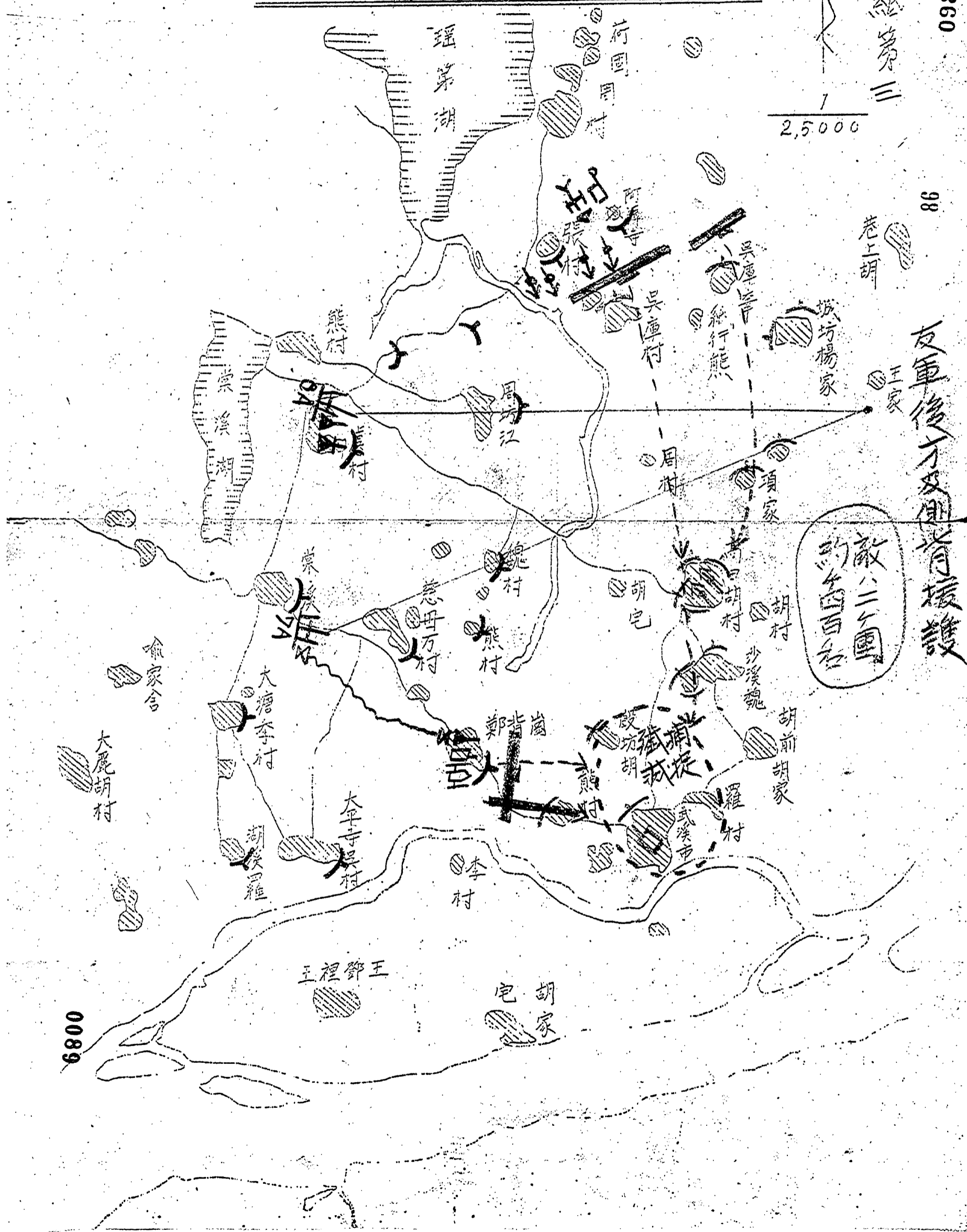
0088



於 差 漢 在 現 時 五 日 十 月 二 十 圖 要 勢 態 我 彼

別 紙 第 三

0984



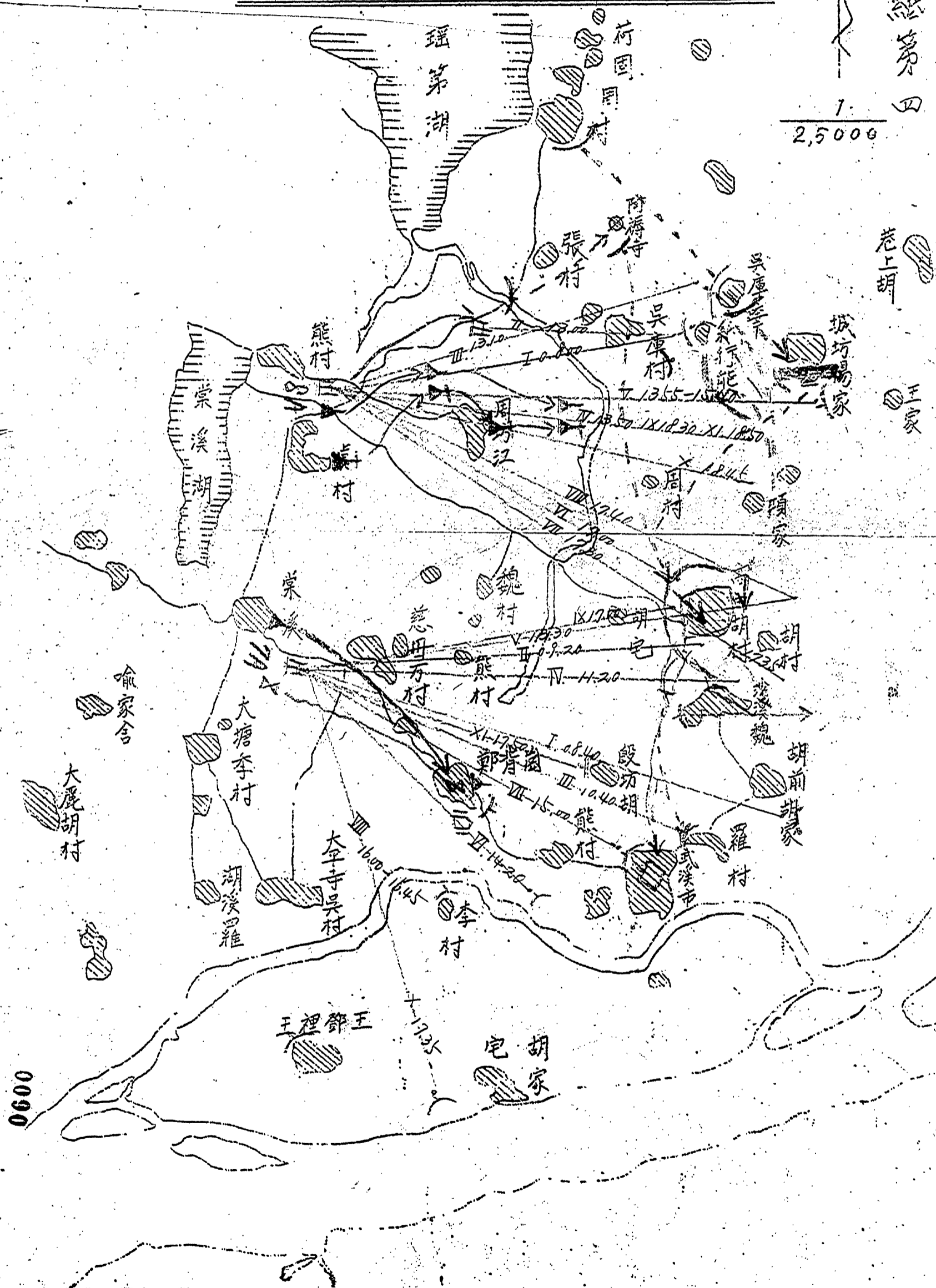
瑶湖東南方戰斗經過要圖 (二十月十日)

別紙第四

0985

1:  
2,5000

78



目次

- 第一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢概要
- 第二 戦闘ニ影響ヲ及シタル氣象地形及住民地ノ状態
- 第三 彼我ノ兵力交戦セシ敵ノ團隊號將帥ノ氏名其他
- 第四 各時期ニ於ケル戰鬥經過關係部隊動作及連絡施設  
状態
- 第五 戦闘後ニ於ケル彼我形勢要圖
- 第六 参考トナルベキ事項

附圖 第一 田中隊射撃順序要圖

第二 龜島隊射擊概要圖

附表 其一 田中部隊死傷表

其二 田中部隊兵器彈藥損耗表

其三 田中部隊本部出動編成表

其四 田中部隊出動編成表

其五 龜島隊出動編成表

一戰前於此彼我形勢概要

四月六日夜南地區隊八陣地ヲ徹シ山背胡東西新陣地ニ後退ス

田中隊ハ牧峯砲兵トナリ柏山附近ニ陣地ヲ占領シ主トシテ

佐藤部隊ハ牧峯ニ任シ爾後引續キ丁村一禪師嶺附

近敵情搜索ヲ續行ス

龜島隊ハ放列陣地ヲ柏山高地ニ觀測所ヲ熊家並鉄

道高地ニ推進シ敵情搜索ヲス

敵ハ四月七日朝来我々後退ヲ察知セルモノ如ク逐次北上シ

来リ四月八日九時約三〇〇名ノ敵ハ谷山章村歩兵分哨ヲ

襲来セシテ遂ニ退却ス

東南地區隊長ハ四月八日正時谷山章村附近ニ進出セル敵

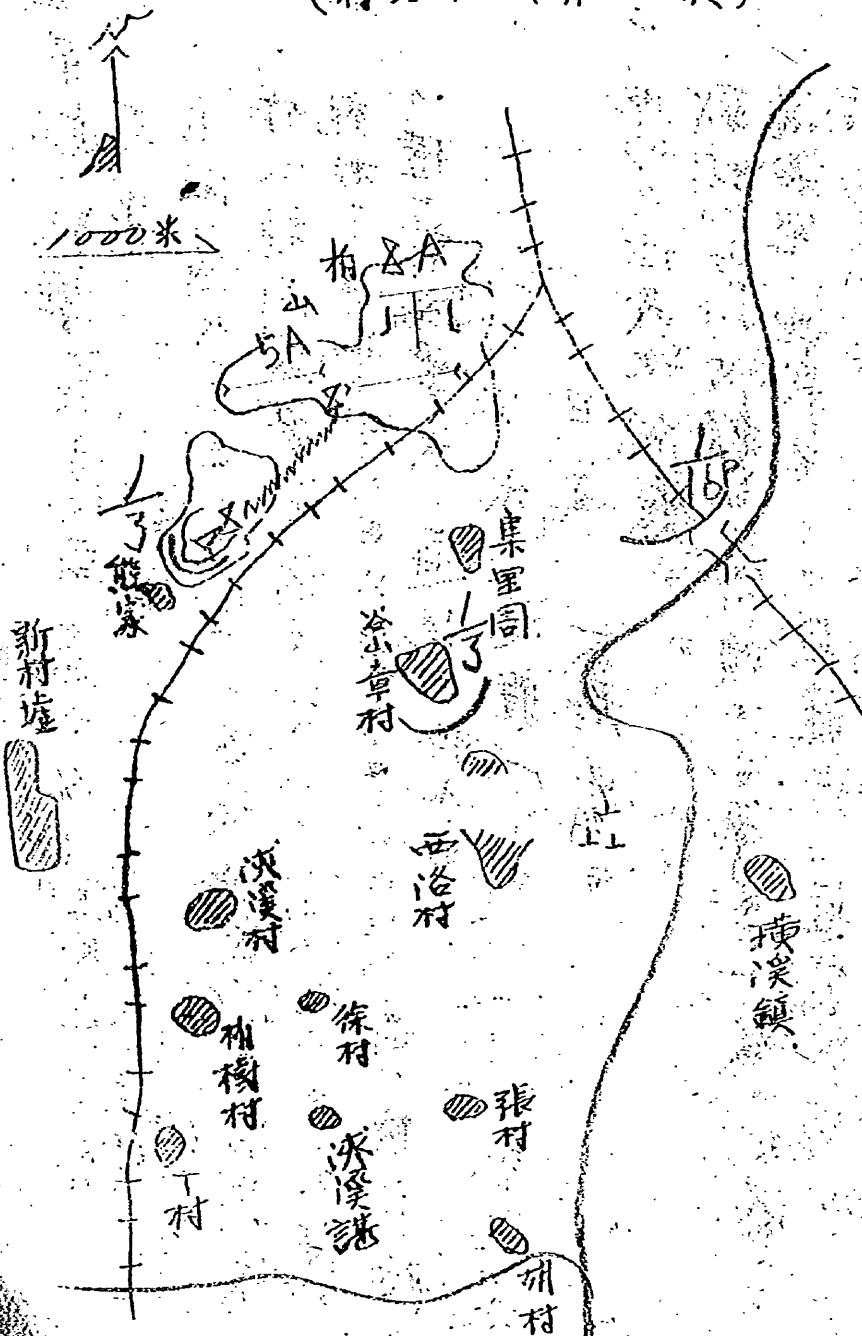
至近距離ニ近迫スルヲ待テ集結セル佐藤部隊ハ主力ヲ以

テ一擊ヲ以テ東滅ス

7600

# 戰前彼我形勢要圖

(於四月八日死時)



戰前於此彼我形勢之概要左圖如左

二 戰術ニ影響ヲ及ビタル氣象地形及住民地狀態  
氣象

氣温ハ攝氏三十一度ニ至リ極メテ温暖晴天ニ至リ射量操  
作及觀測容易ナリ猶陽炎全ク無ク約八ノ一ニ至リ  
視程三月出ハ二十四時以後ニ至リ二十時以後ハ極メテ暗  
ク僅ニ前方三十米ノ通視ヲ許スニ至リ

日出 七時一七分

日没 一八時五五分

地形及住民地狀態

戰場ハ無河及贛江沖積上平原ニ至リ一散ニ低濕ナリ  
灌溉用池沼クハ一々發達シタルヲ輕裝田車等  
行動ニ支障ナシ

住民地ハ汚濁製氷工場概テ四月攻勢ノ結果荒廢シ  
テ無住地帯ナリ且ツ住民地附近ニハ必ス松柏科ノ  
大樹叢生シテ天候及地形ノ影響ヲ受ケタルヲ見ル

9600

及爆轟好目標ヲ至ス

敵陣地タル柏山附近ハ松疎林ニテ遮蔽ニ適スル

外粘土頂ニテ工事極ニ容易ナリ 柏山熊家附近

ハ此高十五及至二十米、低キ丘陵地帯ニテ觀測所ニ

適ス

三 彼我、兵力、交戦セシ敵、團隊、特師、代名、其、也

敵、第三、大、師

師、長、劉、廣、前

當、面、敵、約、一、〇、〇、〇、名

我、軍、突、圍、長、内、田、少、將

歩、兵、約、三、大、隊、(佐、藤、部、隊、小、川、部、隊、各、一、部)

輕、裝、甲、車、三、中、隊、(單、直、轄、鳥、巢、部、隊)

十、七、台

野、砲、兵、三、中、隊、(田、中、隊、小、中、隊、龜、島、隊)



敵、編制裝備

敵歩兵、中隊ハ約一四〇名ニテ駐機シ、小銃、マ、有シ  
畧々我、歩兵一小隊ニ匹敵ス  
素質及戰法

美、兵、師、素、備、ハ、戦、力、乙、程、及、シ、テ、戦、意、稍、旺盛、ナリ  
然、レ、モ、戦、闘、場、面、稍、警戒、心、ヲ、失、キ、猪、突、進、シ、来、ル  
弊、アリ、

各時期ニ於ル戦闘經過関係部隊動作及連絡施設状態

四月七日 左記長林部隊命令、反領ス

一三、マ、マ、 大、師、砲、作、令、第、十、三、號

長林部隊命令

四月七日一五、マ、マ、  
於山背胡觀測所

一、爾、今、小、隊、ハ、了、直、轄、田、中、中、尉、ハ、大、隊、指、揮、  
班、及、龜、島、隊、主、力、ヲ、併、セ、指、揮、ス、シ、

二子ノ現在地ニ在リ

部隊長 長林勝由

一三三〇 吉命令ニ基テ左記命令ヲ下達ス

大尉龍巻田作命令第三号

四守隊命令

四月七日 龍巻田

一隊状及方卓ノ状態ヲ思フ

田中中尉ハ該隊命令ニ依リ退成ニ用部隊長

代理ヲ命ジル 爾後退成ニ用部隊(除キ該隊)

ハ從前通り現任務ヲ續行ス

二島島隊ハ拍山南方田中隊觀測所ニ對シ

通信網ヲ構成ス

捜査區域

田中隊 丁村 | 北切岡

島島隊 下賦策 | 上洛胡村

四月八日

九〇〇

一〇〇〇

二〇〇〇

基及目標 奮闘別紙、如シ

七日敵ハ我撤退ニ迫臨シ北上シテ有カレハ敵ハ禪

師嶺及沃溪余ニ出現ス

敵ハ四月八日朝未果敢ニ前進シテ約一〇〇名ハ西

洛村ニ入りテ我々小章村、我カ奇兵分哨ヲ襲撃セリ

竄退セリ

敵ハ四月八日十時前ニ我々小章村南方西洛村東

西線(即チ禪師嶺)一環溪鎮一西洛村一沃溪余

一新村墟(録)ニ進出ス

左記命令ヲ受領ス

大田宛命令、義十三號

長林部隊命令

四月八日二二〇〇 小井胡觀測所

一田中隊ハ益々敵情搜索ヲ密ニシテ沃溪余

西洛村ニ對シ射撃ヲ準備ヲスルニ

二二八現存地ニ在リ

部隊長 長林勝由

一三二〇 元記令令十愛領ス

大昭宛昨令 蒙十 四 號

長林部隊令令 月八日 一三二〇 長山背胡鏡測所

一地區隊ハ公山草村附近ニ進出セル敵ニ至近距離

離ニ近進スルヲ待テ 集結セル佐藤部隊ハ主力ヲ以テ

一裝備ヲ奪取ス

一砲兵隊ハ依然地區全正面ハ敵情ヲ搜索スルト共ニ

特ニ公山草村ハ派漢系 塘坊袁方向ハ敵情搜索

ヲ續行ス

三田中隊(龜島隊主力ニ合シ)ハ前江務ヲ續行スルヲ共

ニ特ニ西谷村ハ派漢系 塘坊袁方向ハ敵情搜索

ヲ續行ス

四 小口隊ハ觀測所ヲ拍山西側附近ニ推進シ至トシテ  
熊家前方鐵道線路西側地區ニ敵情ヲ搜索ス

五 混成高瀨部隊ハ依然前任務ヲ續行スヘシ

大田中隊ハ佐藤部隊柏山進出ト共ニ密ニ該部隊

上連絡ス

六 予ハ依然現在地ニ在リ

部隊長 長林勝由

一三 一 敵情急激ニ悪化シ敵第一戰ハ友軍第一戰ニ

近シ距離ニ肉迫シ狙撃ヨリ

放列ハ第一隊長 後藤見習士官、指揮ニテ殺

條網材料ヲ蒐集シ可樂設備ヨリ

一五 四 大隊連絡將校以下ハ聯隊本部推進ト共ニ一五

一 山北背能發 一五 四 柏山ニ到達セリ 着後直シ

2010

熊家觀測所、山北村、熊家間、電話線、相

山、熊家、通、如、處、置、又

一六二、米、兵、團、長、内、田、少、將、佐、藤、部、隊、を、指、揮、す、相、山、

新、着、田、中、隊、八、長、林、部、隊、を、指、揮、す、後、

同、時、長、林、部、隊、長、右、記、要、旨、命、令、を、受、領、す、

左、記

混、成、六、角、部、隊、(、缺、小、隊、) 、西、洛、村、決、溪、谷、陣、

地、三、射、撃、之、田、中、隊、觀、測、所、八、直、至、熊、家、高、地、

を、推、進、す、

一六三、我、の、部、隊、に、協、力、す、ル、海、軍、機、八、数、回、三、百、リ、爆、雷、を、突、

施、セ、ル、敵、の、活、動、尚、旺、盛、す、

一六四、右、記、中、隊、命、令、下、達、

大、師、砲、長、田、作、命、第、四、號、

田、中、隊、命、令、

四、月、八、日、一、八、四、

三〇〇

一 敵約三〇ハ、西洛村ニ侵入ス其他、淡溪余及其後  
方ニ八五〇内外、敵兵アリ

東南地區隊ハ一八時谷山章村東西線ニ展開シ  
西洛村、敵ヲ包圍殲滅ス 長林部隊ハ之ヲ直接協  
同ニ任ス

二 田中隊ハ佐藤部隊、攻速ニ直接協同セトス

三 中隊觀測所ハ熊家西方長林部隊本部觀測所ニ  
同ニ指揮小隊長ハ熊家觀測所ニ至リ長林部隊  
指揮班長、指揮コトヲ射速諸元、決定ニ任ス

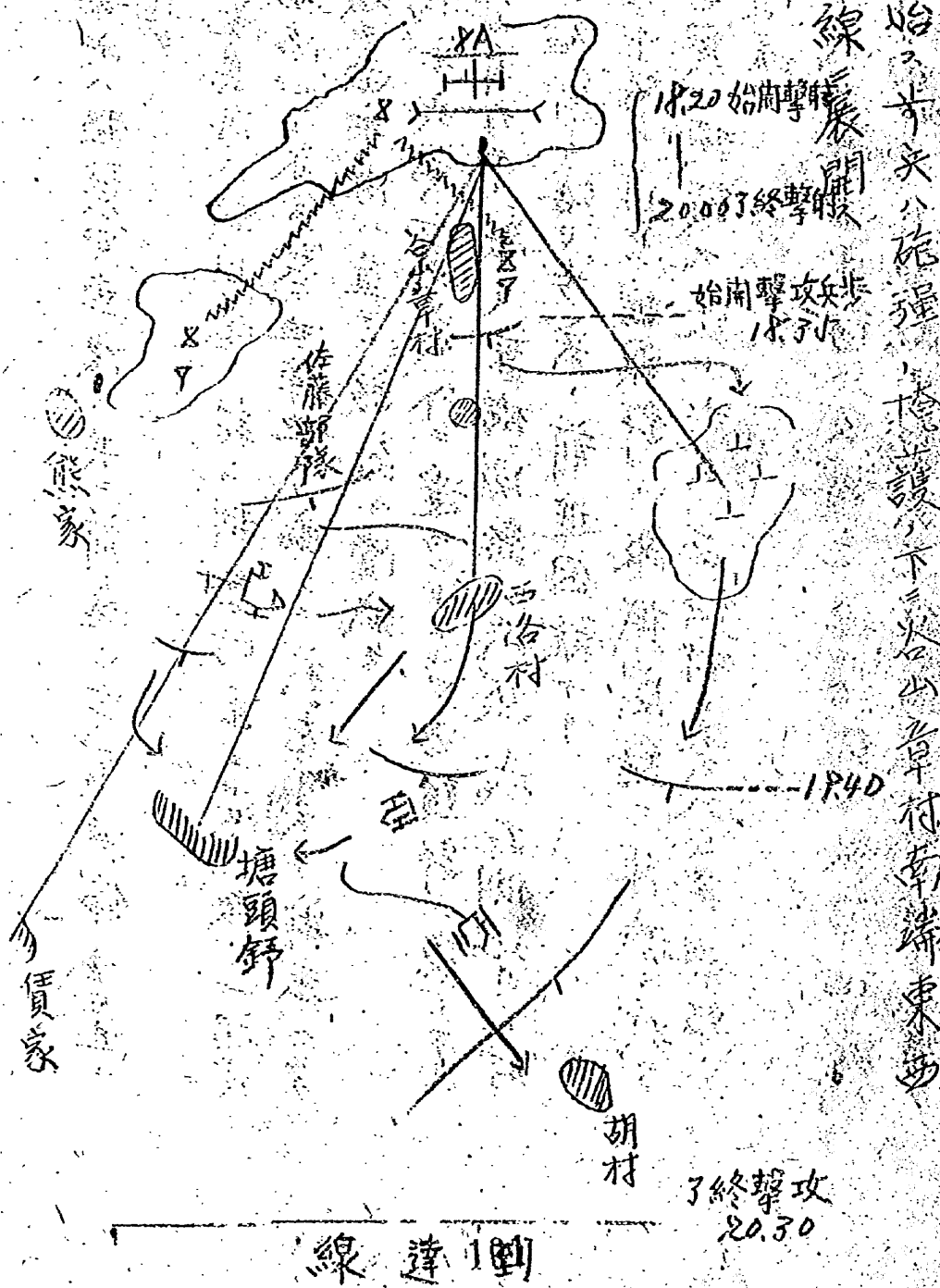
通信網ハ拍小隊列ヲ熊家觀測所ニ對シ構成ス  
平林帶長ハ觀測所一カ從、谷山章村ニ到リ、補  
助觀測所ヲ設置シ敵情搜索射速觀測ニ任ス

田中隊長 田中中尉

田中隊 龜島隊ハ先ニ西洛村、敵ニ對シ射速ヲ派

0104

# 戰鬪經過要圖



始開擊攻步兵  
 線  
 了終擊攻  
 1940  
 草村南端東西

0999



歩兵ハ輕裝甲車隊ト共ニ前進シ突撃準備位置ニ就ク

一八三三 龜島隊、該目標ニ對シ制圧射重コナセリ敵、一部ハ西洛村東方高地陣地ヲ盛ニシ我左翼ヲ射重セルヲ以テ田中隊ハ直ニ該敵ヲ潰滅ス

一八三五 我歩兵第一戰突入ニ遷ラントスルマ塘頭舒ニ隠シアリタル有力敵及重機銃ハ俄然我右側北背ニ對シ猛射ヲ浴セ歩兵、前進困難ナリ

田中隊ハ直ニ塘頭舒、敵機銃ヲ撲滅シ我右翼ヲ掩護ス次ニ歩兵ハ西洛村ニ突入シ其南部ヲ確保ス

一八四〇 歩兵ハ輕裝甲車隊ハ及轉ニ塘頭舒敵陣地ニ攻突由中隊ハ猛烈ナル突撃ヲ援射重ヲ實施シ夜庫戰車、前進ニ伴ヒ遂次其、彈幕ヲ後ニ移動シ

歩戰砲、協同、下ニ塹壕等ヲ奪取ス

一九〇〇張村附近ニ射撃スル長林部隊命令ヲ受領ス

一九〇〇次子任良家附近ニ増援シ来ル敵ヲ射撃シ之ヲ制壓ス

一九〇五米次ハ遂次南面ニ胡村方面ニ向テ前進ヲ開始ス

田中隊ハ我々左翼方面ニ増援シ来ル張村附近

敵及債家南方ニ退却スル敵ヲ制壓ス

一九〇〇敵ハ退却開始ス 田中隊ハ債家南方ニ退却スル

敵ヲ射撃シ潰亂ニ陥ラセ

一九〇〇歩兵ハ退却スル敵ニ尾ニ胡村東西ノ線ニ進出ス

田中隊射撃實施結果別紙ニ如シ

2010

時間	彈數	信管	彈種	效果	敵	目標	
18.20 18.30	18 發	瞬 髮	榴 彈	殲 滅	敵 兵 約 20	陣 地	西 谷 村 敵
18.31 18.32	7 發	瞬 髮	榴 彈	制 壓	敵 兵 3	陣 地	西 谷 村 東 方 塘 頭 舒
18.35 18.55	44 發	瞬 髮	榴 彈	殲 滅	敵 兵 3	側 方 火 器	舒 張 村
19.00 19.25	40 發	瞬 髮	榴 彈	制 壓	敵 兵 10	敵 步 兵	賃 家 塘 頭 舒
19.25 19.35	8 發	瞬 髮	榴 彈	制 壓	敵 兵 5	增 援 步 兵	舒 張 村
19.35 19.40	8 發	瞬 髮	榴 彈	制 壓	敵 兵 10	增 援 步 兵	張 村
19.40 20.00	12 發	瞬 髮	榴 彈	制 壓	敵 兵 10	退 却 步 兵	賃 家 塘 頭 舒

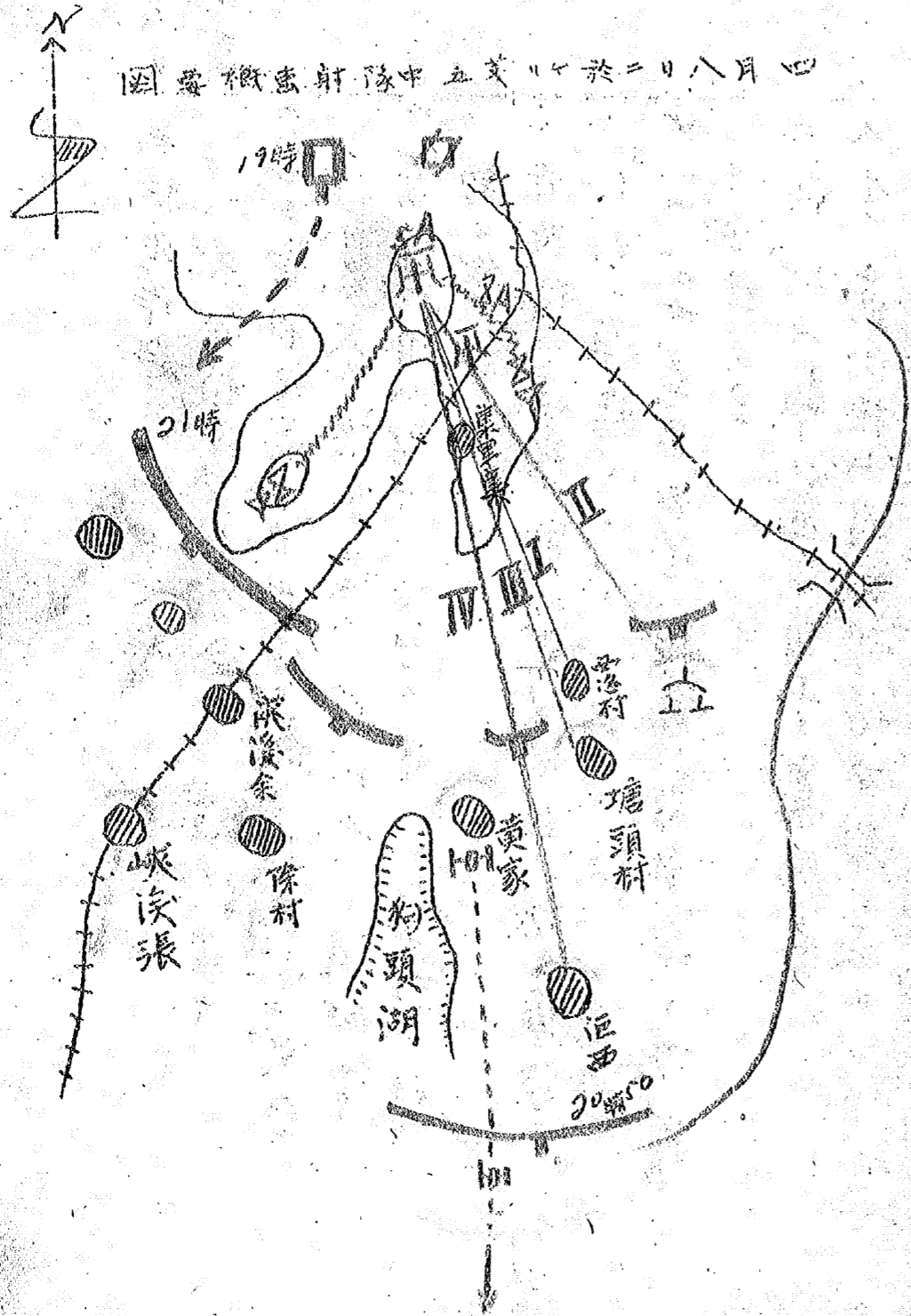
104

1002

6010

附圖分二

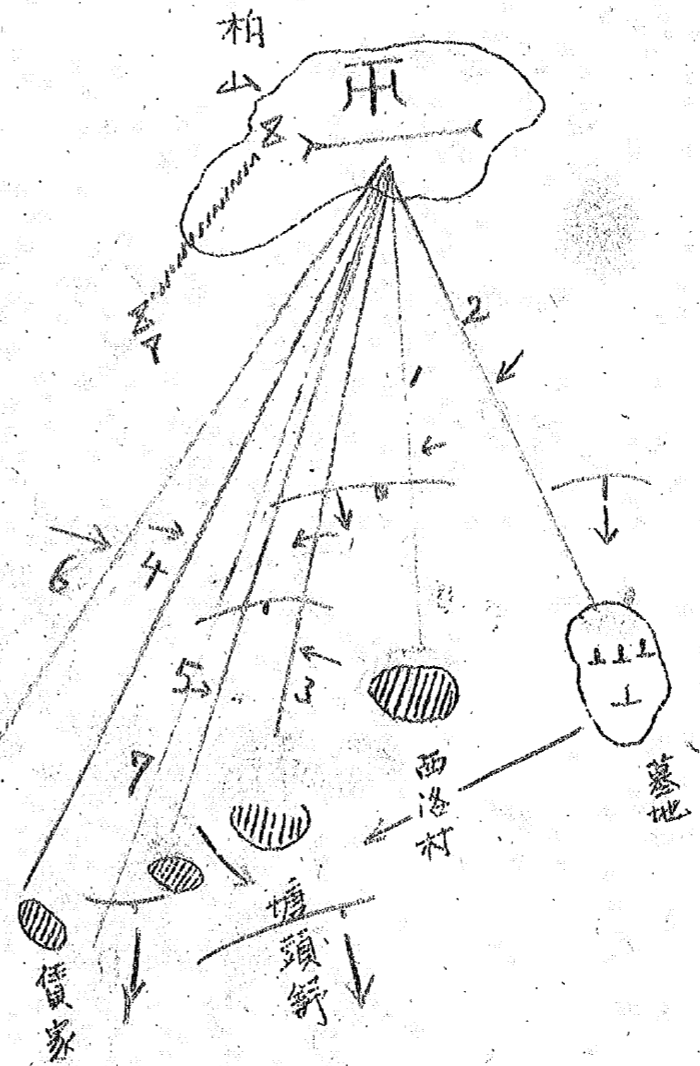
圖 爲 概 密 射 隊 中 五 支 於 二 日 八 月 四



106

8010

附圖分一



射連順序要圖

105

1003

四月八日

二三三〇

大原砲作命 第七七號

長林部隊命令

四月八日  
熊家

一 谷山章村方向ニ進出シテ敵ハ我急襲的侵攻

ニ依リ多大ノ損害ヲ蒙リ薩陸地内ニ退却セリ

二 地西隊ハ柏山附近ニ兵力ヲ集結シ爾後行

動ヲ準備ス

三 砲兵隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹シ爾後ノ

行動ヲ準備セントス

四 小口、田中、龜島各隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ現任務

ヲ續行スヘシ

五 部隊本部ハ直ニ柏山ニ集結スヘシ

又予ハ直ニ柏山内田部隊本部ニ至ル

部隊長 長林勝由

陣地占領及其主之理由

田中隊相山附近之陣地占領之共同地ハ敵第一戰後  
後方地帯迄全地域射撃可能ニシテ而シテ死界ハ其敵  
對ニ完全ニ遮蔽シタルニシテ

熊鷹高地之觀測所ヲ出シテハ同地ハ比高約二十米絶好  
展望ヲ具スルニ依ル

五戰鬪後ニ於テハ彼我形勢ハ概要

四月八日、戰鬪ニシテ敵ハ胡村東西線以南、舊陣地  
内ニ退却シ、我軍ハ四月九日朝徹退、爾後舊牧谷  
部隊對陣、狀態トシテ敵ハ派溪余東西線ヲ前  
進、我軍ヲ

大參考トシテ事項

一、戰終、突入時ニ於テハ協同ニ就テ  
塘頭射撃隊ニ際シテ射距離三六六米ニ以テ陣地前端